

## 平成 20 年度臨時理事会議事録

日 時：平成 21 年 4 月 2 日（木） 11：30～12：40

会 場：国立京都国際会館 5 階「Room 510」

出席者：

理事長：吉村 泰典

副理事長：岡村 州博、落合 和徳

理 事：石河 修、岩下 光利、梅咲 直彦、岡井 崇、嘉村 敏治、神崎 秀陽、吉川 史隆、  
佐川 典正、櫻木 範明、武谷 雄二、田中 俊誠、堂地 勉、秦 利之、平原 史樹、  
平松 祐司、星 和彦、星合 昊、吉川 裕之、和氣 徳夫

監 事：柏村 正道、丸尾 猛

第 62 回学術集会長：稲葉 憲之

幹事長：矢野 哲

副幹事長：澤 倫太郎

幹 事：内田 聡子、梶山 広明、北澤 正文、久具 宏司、小林 陽一、下平 和久、高倉 聡、  
橋口 和生、濱田 洋実、阪埜 浩司、平田 修司、藤原 浩、堀 大蔵、増山 寿、  
村上 節、渡部 洋

総会議長：松岡幸一郎

総会副議長：清水 幸子

専門委員会委員長：苛原 稔、小西 郁生

名誉会員：樫木 勇、関場 香、藤本 征一郎、前田 一雄、望月 真人

顧問弁護士：平岩 敬一

陪 席：海野 信也

事務局：荒木 信一、桜田 佳久

資料：

定款、定款施行細則等

倫理的に注意すべき事項に関する見解

1. 平成 20 年度第 4 回理事会議事録（案）
2. 平成 20 年度第 9 回常務理事会議事録（案）
3. 業務担当理事報告並びに関連協議事項予定内容

総務 1：理事、監事、第 61 回総会運営委員・予算決算委員

総務 2：総会議長団の選出について

総務 3：第 61 回日本産科婦人科学会総会資料

総務 4：次期専門委員会委員候補者

総務 5：理事長選出方法（案）

総務 6：生殖医療リスクマネジメント委員会の件について

総務 7：HRT ガイドライン見直し

総務 8：カバサール錠使用上の注意改訂の経緯

総務 9-1：産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008—の取扱いに関する覚書

総務 9-2：ガイドライン作成関係諸費用（日本産科婦人科学会支払い分）

総務 10：自民党政務調査会「会議ご出席のお願い」

総務 11：厚生労働省「妊婦健康診査の実施について」

総務 12：厚生労働省「『輸血療法の実施に関する指針』及び『血液製剤の使用指針』の一部改正について」

総務 13：厚生労働省「乳児用調整粉乳の安全な調乳、保存及び取扱いに関するガイドラインについて」

総務 14：欠番

総務 15：最高裁判所医事関係訴訟委員会から鑑定人候補者推薦の態勢づくりの依頼について

総務 16：「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」における協力関係学会説明会開催のご案内

総務 17：日本性感染症学会からの文書

総務 18：日本眼科学会からのアンケート依頼  
 総務 19：厚生労働省「医療事故情報収集等事業への参加等について（依頼）」  
 総務 20：読売新聞 3 月 29 日付記事「子宮頸がん予防新ワクチン開発」  
 会計 1：取引銀行の格付と預金残高  
 渉外 1：AFOG Educational Fund 寄附者一覧  
 渉外 2：第 61 回日産婦学術講演会における各国執行部役員との会合について  
 社保 1：臨床検査医学会「診療報酬からの削除項目のご提案」  
 社保 2-1：リンパ浮腫治療の保険適用の要望書  
 社保 2-2：医療技術評価提案書  
 倫理 1-1：声明文  
 倫理 1-2：毎日新聞 3 月 1 日付記事「受精卵取り違え 医師の処分なし」  
 倫理 1-3：緊急通達  
 倫理 1-4：生殖補助医療実施登録施設実施責任者宛書信  
 倫理 2：貴殿の実施した「実母による代理出産」について  
 倫理 3：毎日新聞 2 月 27 日付記事「体外受精で 49 歳出産 自分の卵子使い」  
 倫理 4：毎日新聞 3 月 28 日付記事「姉妹や知人の卵子で体外受精 生殖医学会が容認提言」  
 教育 1：子宮外妊娠に関する会員からの意見  
 広報 1：JSOG-JOBNET 事業報告  
 広報 2：ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について  
 広報 3：JSOG ホームページアクセス状況  
 将来計画 1：将来計画委員会答申  
 将来計画 2：朝日新聞 3 月 2 日付記事「産科救急なお連携不足」  
 将来計画 3-1：分担研究者報告書文書 4 「周産期医療と救急医療の確保と連携のための緊急課題への提言」要旨  
 将来計画 3-2：分担研究者報告書文書 3 「周産期医療と救急医療の確保と連携のための緊急課題への提言」  
 将来計画 4：分担研究者報告書「わが国の母体救命救急体制に関する調査」  
 将来計画 5-1：今後の臨床研修制度の概要について（案）のイメージ  
 将来計画 5-2：第 4 回医道審議会医師分科会医師臨床研修部会 議事次第  
 将来計画 5-3：日経新聞 3 月 8 日付記事「臨床研修制度見直しに賛否」  
 将来計画 5-4：「医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令の一部を改正する省令及び関連通知の一部改正（案）について」への意見 案 2  
 将来計画 6：毎日新聞 3 月 22 日付記事「婦人科系がん患者の大病院集中加速」  
 将来計画 7：毎日新聞 2 月 28 日付記事「周産期連携で 6 病院」  
 将来計画 8：朝日新聞 3 月 26 日付記事「総合周産期センター指定 愛育病院返上申し出」  
 男女共同参画 1-1：2009 年女性の健康週間イベント報告  
 男女共同参画 1-2：厚生労働省ホームページの掲載状況  
 男女共同参画 2：地方部会担当公開講座一覧  
 男女共同参画 2-2：平成 20 年度地方部会担当市民公開講座に於いて 100 名以上集客した地方部会の工夫  
 総会 1：代議員からの質問・要望事項  
 無番：政府・平成 21 年度補正予算・平成 22 年度予算等要望項目検討小委員会  
 無番：日本脳性マヒ者協会全国青い芝の会 「産科医療補償制度」に対する見解書

午前 11 時 30 分、理事総数 23 名中 22 名出席（井上正樹理事欠席）、定足数に達したため、吉村理事長が開会を宣言した。

吉村理事長が議長となり、議事録署名人として理事長及び副理事長 2 名を指名して議事に入った。

理事会開始にあたって吉村理事長より任期満了に伴う挨拶と学会運営の協力に対する御礼が述べられた。

#### I. 平成 20 年度第 4 回理事会議事録（案）の確認

上記議事録(案)が示され、本理事会終了までに異論は出ず、原案通り承認した。

#### II. 平成 20 年度第 9 回常務理事会議事録（案）の確認

上記議事録(案)が示され、本理事会終了までに異論は出ず、原案通り承認した。

#### III. 業務担当理事報告並びに関連協議事項

##### 1) 総務（落合和徳副理事長）

###### 〔I. 本会関係〕

###### (1) 会員の動向

特になし

(2) 理事・監事候補者及び総会運営委員会委員・予算決算委員会委員候補者について〔資料：総務 1〕

(3) 総会議長団の推薦依頼について〔資料：総務 2〕

本日の総会運営委員会にて議長候補者、副議長候補者の詮衡を行う予定である。

(4) 第 61 回総会次第及び学術講演会期間中のビジネス会議のスケジュールについて〔資料：総務 3〕  
代議員からの質問・要望事項及びその対応については後半“Ⅲ. 第 60 回総会運営について”で協議する。

(5) 次期専門委員会委員候補者について〔資料：総務 4〕

特に異議なく、資料に示された次期専門委員会委員候補者を、承認した。

(6) 第 1 回理事会に於ける理事長の選出方法について〔資料：総務 5〕

落合副理事長より資料に基づき理事長の選出方法について説明があり、特に異議なく、承認した。

###### (7) 専門委員会

①生殖・内分泌委員会内に「リスクマネジメント委員会の設置に関する小委員会」を設置する。

〔資料：総務 6〕

苛原委員長から提出された提案〔資料：総務 6〕につき、特に異議なく、承認した。

②ホルモン補充療法ガイドラインを 5,000 部発行することに伴う見積金額が杏林舎から提示された。  
第 9 回常務理事会で審議の結果、見積金額を承認した。〔資料：総務 7〕

③キッセイ薬品工業株「カバサール錠使用上の注意改訂」について〔資料：総務 8〕

カバサール錠は産褥性乳汁分泌抑制に短期間使用している。通常カバサール錠を使用する際にはエコー検査を義務付けているが、テンポラリーに使用する場合エコー検査は必ずしも必要ないのではないかと  
の考え方もあり、学会としての意見を聞きたいとのことである。第 9 回常務理事会での審議の結果、  
生殖・内分泌委員会で検討することとした。

(8) 産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008—の取扱いに関する覚書を日本産婦人科医会と締結した。

〔資料：総務 9-1, 9-2〕

(9) 自民党政務調査会より脳死・生命倫理及び臓器移植調査会（議題：生殖補助医療の現状と課題についてヒアリング、日時：3 月 19 日）に出席方依頼があり、本会より吉村理事長が出席した。

〔資料：総務 10〕

## 〔Ⅱ. 官庁関係〕

### (1) 厚生労働省

①雇用均等・児童家庭局母子保健課より「妊婦健康診査の実施について」の通知を受領した。会員への周知依頼があり、機関誌及びホームページに掲載した。〔資料：総務 11〕

②医薬食品局より「輸血療法の実施に関する指針及び血液製剤の使用指針の一部改正について」の通知を受領した。〔資料：総務 12〕

③雇用均等・児童家庭局母子保健課より「乳児用調整粉乳の安全な調乳、保存及び取扱いに関するガイドラインについて」の事務連絡を受領した。〔資料：総務 13〕

④医政局より「医療事故情報収集等事業への参加等について（依頼）」の通知を受領した。

[資料:総務 19]

## 〔Ⅲ. 関連団体〕

### (1) 日本産婦人科医会

特になし

### (2) 日本医学会

①日本医学会を通じ、最高裁判所医事関係訴訟委員会から鑑定人候補者推薦の態勢づくりの依頼があった。〔資料:総務 15〕

落合副理事長「従来運営委員会内に鑑定人推薦委員会が設置されており、引き続き運営委員会に小委員会を設置して対応して参りたい」

### (3) 日本内科学会

①診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業中央事務局より協力学会説明会(開催日:5月19日、会場:日内会館、東京)の開催案内を受領した。〔資料:総務 16〕

### (4) 日本性感染症学会

①同学会より今年度から日本性感染症学会認定医制度を発足させるにあたり、本会の専門医の資格を有することを条件とすることにつき、同意頂きたいとの依頼があった。第9回常務理事会での審議の結果、同意書を提出した。〔資料:総務 17〕

### (5) 日本眼科学会

①同学会より同学会員が院長を務める施設で近視矯正のレーシック手術を受けた患者に感染症が発生した事例に関する対応を検討するため、会員の罰則規定に関するアンケート調査の協力依頼があった。第9回常務理事会で審議の結果、アンケート調査に協力することとし回答した。〔資料:総務 18〕

## 〔Ⅳ. その他〕

(1) 第15回国際東洋医学会学術大会より「第15回国際東洋医学会学術大会」(開催日:平成22年2月26日~28日、会場:千葉幕張メッセ)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した。

経済的負担がなく、後援を応諾したい。

特に異議なく、承認した。

(2) 3月29日付読売新聞記事「子宮頸がん予防新ワクチン開発」〔資料:総務 20〕

(3) 落合副理事長より「日本脳性マヒ者協会 全国青い芝の会から産科医療補償制度に対する見解書が提出されており、今後総務において対応していきたい」との発言があった。

## 2) 会 計 (岡村州博副理事長)

(1) 取引銀行の格付と残高について〔資料:会計 1〕

### 3) 学 術 (吉川裕之理事)

#### (1) 学術委員会関連

##### 1) 会議開催

①優秀演題賞選考委員会を4月3日に開催する予定である。

②第61回学術講演会 IS Award 選考委員会を4月3日に開催する予定である。

#### (2) 第62回学術講演会プログラム委員会関連

特になし

#### (3) 第63回学術講演会プログラム委員会関連

特になし

### 4) 編 集 (岡井 崇理事)

#### (1) 会議開催

4月17日に和文誌ならびに JOGR 編集会議を開催する予定である。

#### (2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況: 2008 年投稿分

投稿数 742 編 (うち Accept 169 編、Reject 399 編、Withdrawn/Unsubmitted 75 編、Under Revision 70 編、Under Review 15 編、Expired 14 編)

#### (3) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況: 2009 年投稿分 (2 月末現在)

投稿数 143 編 (うち Accept 0 編、Reject 30 編、Withdrawn/Unsubmitted 14 編、Under Revision 5 編、Under Review 82 編、Pending 12 編、Expired 0 編)

岡井理事「JOGR の完全電子ジャーナル化については、これまで3カ国 (スリランカ、ネパール、バンラディッシュ) が反対意見を表明していたが、AOCOG2009 の期間中に開催された AFOG Council Meeting において3ヶ国の賛同が得られたため、今後 JOGR の完全電子ジャーナル化を進めることが決定された。また JOGR の投稿論文査読に貢献された方の中から基準に則り選考した国内査読者に対して懇親会の席上で Best Reviewer 賞を授与する」

星合理事「AFOG Council Meeting において岡井編集担当常務理事が JOGR 編集担当として executive board member に再任されたことを報告する」

吉村理事長「JOGR のインパクトファクターも上がっており、岡井先生のご努力に対し敬意を表したい」

### 5) 渉 外 (嘉村敏治理事)

#### [AFOG 関係]

#### (1) Educational Fund について [資料: 渉外 1]

2月27日に台湾の Educational Fund 専用口座に1,118千円を送金した。

嘉村理事より AFOG Council Meeting に関して「AFOG の周産期委員会委員長として池ノ上先生を候補者として推薦していたが、残念ながら再任されず、インドの Dr Shyam Desai が就任された。なお、次期 AFOG 会長は香港の P. C. Ho 先生に決定した」との報告があった。

吉村理事長「Educational Fund に関しては本会が当初目標としていた金額に大体達しており、協力頂いた会員の先生方に御礼を申し上げたい」

星合理事「Educational Fund に対する本会の多大な協力について AFOG Council Meeting 等において感謝の意が述べられた。また寄付を頂いた方は金額に拘らず web site に名前を載せることが決定したことを報告する」

[ACOG 関係]

(1) 5月2～6日シカゴにて開催の ACOG Annual Clinical Meeting に落合副理事長、嘉村第 61 回学術集会長、稲葉第 62 回学術集会長が出席の予定である。

[その他]

(1) 第 61 回学術講演会期間中の外国学会役員との会議日程について [資料: 渉外 2]

6) 社 保 (和氣徳夫理事)

(1) 日本産科婦人科内視鏡学会より腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の最新の年間症例数を受領した。  
和氣理事「次年度の外保連の要望書に反映させたい」

(2) 日本医師会疑義解釈委員会より平成 20 年度第 4 回供給停止予定品目検討依頼を受領し、理事及び社保委員による検討結果を回答した。

(3) 臨床検査医学会より診療報酬からの削除項目の提案があり、理事及び社保委員に検討を依頼した。  
[資料: 社保 1]

和氣理事「削除しても問題がない検査と思われるのでその旨同医学会に通知したい」

(4) リンパ浮腫治療の保険適用の要望書について [資料: 社保 2-1, 2-2]

和氣理事「リンパ浮腫のリハビリテーション管理料及び更年期診療について生殖内分泌委員会に依頼し、エビデンスに基づいた要望書を提出する予定である」

7) 専門医制度 (星 和彦理事)

(1) 地方委員会宛通知

平成 21 年度審査等に関わる各種様式・研修出席証明シール、平成 21 年度専門医認定審査等についての案内を平成 21 年度事業計画を添えて地方委員会宛に 3 月 13 日に送付した。併せて平成 21 年度は地方委員会委員改選年度に当たるので、新委員名の報告を依頼した。

8) 倫理委員会 (星合 昊委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (平成 21 年 2 月 28 日)

- ①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：52 施設
- ②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録：616 施設
- ③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録：616 施設
- ④顕微授精に関する登録：493 施設
- ⑤非配偶者間人工授精に関する登録：16 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

申請件数：118 例[承認 95 例、非承認 4 例、審査対象外 7 例、照会中 3 例、取り下げ 1 例、審査中 8 例]

(3) 会議開催

- ①第 7 回登録・調査小委員会を 3 月 23 日に開催した。
- ②着床前診断に関するワーキンググループを 3 月 31 日に開催した。

(4) ①香川県立中央病院での受精卵の誤移植に関する本会の声明等について [資料：倫理 1-1, 1-2]

②生殖補助医療実施登録施設実施責任者宛に緊急通達を発送すると共にホームページに掲載した。また、厚生労働省が実施する「特定不妊治療費助成事業実施医療機関を対象としたアンケート調査」への協力を依頼した。[資料：倫理 1-3, 1-4]

(5) 根津八紘会員に対し厳重注意処分とする旨通知した（2月28日付）。〔資料：倫理2〕

(6) 倫理関連記事〔資料：倫理3〕

(7) 3月28日付毎日新聞記事「姉妹や知人の卵子で体外受精 生殖医学会が容認提言」〔資料：倫理4〕

藤本名誉会員「本会の会告“出生前に行われる検査および診断に関する見解”の6項に記載されている母体血清マーカー検査の取り扱いに関して、これは10年前に厚生科学審議会先端医療技術評価部会の委員会や日本人類遺伝学会等関連諸学会で見解が出ている。医療側は積極的に患者にそのような検査があることを周知しないとのスタンスで来ていたが、この2～3年諸外国の状況を見ていると非常に大きく様相が変わっているし、血清マーカー自体のスクリーニングの評価も高くなっている。また、超音波による検査も行われている。このような出生前検査の診断精度が変化している状況に鑑みると、会告を見直す時期に来ていると思うので、倫理委員会あるいは周産期委員会に於いて検討して頂きたい」

平原理事「出生前診断における母体血清マーカー検査については、ACOGでは2年前から検査内容について全妊婦への告知義務を課している。さらに本学会がendorseしている遺伝学的検査に関するガイドラインについても改訂作業が行われるため、改訂作業の進行状況に応じて会告についても検討する必要があるものと思われる」

吉村理事長「新制度として生殖医療に関する遺伝カウンセリング相談受入れ可能な臨床遺伝専門医が立ち上がっているため、この問題について検討を依頼されてはどうか」

平原理事「第61回学術集会期間中に生殖医療に関する遺伝カウンセリング専門医有資格者約150名の会合を持つことになっているので、協議事項として検討を依頼してみたい」

吉村理事長「出生前診断の会告改訂については今後も継続検討課題とし、倫理委員会で具体的に検討して頂きたい」

## 9) 教育（岩下光利理事）

### (1) 会議開催

①第2回平成21年度専門医認定審査筆記試験問題作成委員会を3月26日に開催した。

②サマースクールプログラム委員会を4月4日に開催する予定である。

### (2) 「産婦人科研修の必修知識2007」頒布状況について

3月24日現在、入金済3,578冊、校費支払のため後払希望43冊、購入依頼20冊。

(3) SOGC 応募13名の中から通信による選考委員会を行い、廣澤友也先生（名古屋大学）、金善恵先生（慶應義塾大学）、福島千加子先生（山口大学）の3名を選考した。

(4) 教育委員会提案「ectopic pregnancyの日本語訳」（意見申し出締切：4月30日）について、会員より1件意見を受領した。〔資料：教育1〕

## IV. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

### 1) 広報委員会（平松祐司委員長）

#### (1) JOB-NET 公募情報について〔資料：広報1〕

平松理事「3月の常務理事会でどのような条件で応募が多いか分析するようにとの指示があり、次期広報委員会に申し送る予定である」

#### (2) ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について〔資料：広報2〕

#### (3) ホームページアクセス状況について〔資料：広報3〕

(4) バナー広告について

①3月の1ヶ月間メディカルトリビューンのバナー掲載が決定した。

②あすか製薬と武田薬品のバナー掲載延長が決定した。(2009年4月1日～9月30日)

2) 将来計画委員会 (井上正樹委員長)

(1) 将来計画委員会答申最終案について [資料: 将来計画 1]

吉村理事長「5年前に設定された中期目標の自己評価結果が、1年間をかけて各部署別に点検評価された。この評価結果を機関誌に掲載したいが如何か」

特に異議なく、将来計画委員会答申最終案の機関誌掲載を、承認した。

(2) ガイドライン委員会 (産婦人科診療ガイドライン—産科編)

①「産婦人科診療ガイドライン」頒布状況について

3月23日現在、入金済10,008冊、後払希望29冊。

②産婦人科診療ガイドライン—産科編のPDF版(印刷不可、ダウンロード可)をホームページの一般ページに掲載したい。掲載次期は4月を目途と致したい。

吉川(裕)理事「産婦人科診療ガイドライン—産科編の販売数が10,000部を超えた。発刊後1年が経過したので、当初の予定通りホームページの一般ページに掲載したい」

平松理事「公開にあたっては著作権に関する記載を付けるが、一般ページでの公開でよいか確認頂きたい」

吉川(裕)理事「当初から承認頂いているように公開は一般ページ上で行いたい」

特に異議なく、産婦人科診療ガイドライン—産科編の一般ページでの公開を、承認した。

(3) 産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編—作成委員会

特になし

(4) 産婦人科医療提供体制検討委員会

①周産期医療と救急医療の確保と連携に関する産科・救急・小児科の医師が集まる会を3月1日(日)(於:東京駅八重洲ビジネスセンター)に開催し、約130名(うち報道関係15名)が参加した。

[資料: 将来計画 2]

②「周産期医療と救急医療の確保と連携のための緊急課題への提言」について

[資料: 将来計画 3-1, 3-2]

海野委員長「3月16日厚生労働大臣に提言を提出した」

③わが国の母体救命救急体制に関する調査について [資料: 将来計画 4]

④臨床研修制度の見直しに関する本会の意見について [資料: 将来計画 5-1~4]

海野委員長より「厚生労働省のパブリックコメントに本会意見[資料: 将来計画 5-4]を提出したい」との提案があり、特に異議なく、承認した。

吉村理事長「新理事による第1回理事会にこの意見を報告したい」

⑤3月22日付毎日新聞記事「婦人科系がん 患者の大病院集中加速」[資料: 将来計画 6]

(5) 関連記事 [資料: 将来計画 7]

(6) 3月26日付朝日新聞記事「総合周産期センター指定 愛育病院返上申し出」[資料: 将来計画 8]

(7) 吉村理事長より「厚労省医政局より21年度補正予算、22年度予算への要望提出を依頼されているが、主要検討課題は資料[当日配布資料無番]の通りで宜しいか」との発言があり、特に異議なく、承認



した。

### 3) 男女共同参画検討委員会（田中俊誠委員長）

#### (1) 女性の健康週間委員会

- ①女性の健康週間イベント実施報告について [資料：男女共同参画 1-1, 1-2]
- ②女性の生涯健康手帳 2009 年版配布終了について

#### (2) ①地方部会担当公開講座について [資料：男女共同参画 2]

- ②地方部会担当市民公開講座に於いて 100 名以上集客した地方部会の工夫について

[資料：男女共同参画 2-2]

清水副議長（女性の健康週間委員会委員長）「常務理事会からの指示により参加者の多かった地方部会にアンケートをしたところ、新聞広告、パンフレットなどそれぞれ工夫されていることが分かった。纏まり次第報告したい。生涯健康手帳は合計 25 万冊作成したが、全て配布し在庫がない状況である」

## V. 第 61 回総会運営について

### (1) 代議員からの質問・要望事項 [資料：総会 1]

矢野幹事長より代議員からの質問・要望事項について資料に基づき説明があった。

松岡議長「今回は 7 名の代議員から 15 件の質問・要望事項が寄せられている。最も重要な議案として定款の改定案が上程されており、全代議員の 3/4 以上の賛成がないと承認されない。総会では十分議論して頂いて採決に至ればと思う。一部の質問・要望事項に関する取扱いについては総会運営委員会で討議し、委員の意見を踏まえた上で厳しく対応して頂きたい。現議長団の経験を踏まえて申し上げるならば厳正なる運営で総会に臨みたい」

吉村理事長「今年は例年になく質問・要望事項が多いので、担当理事に於かれては的確にお答え頂きたい」

最後に嘉村第 61 回学術集会長より挨拶と協力に対する御礼が述べられ、閉会した。

以上